

エッジ AI カメラが高度な映像分析・解析を実現

— 最先端の AI 技術をマーケティングや業務改善に活用 —



i-PRO AI カメラ

カメラは安心の Panasonic ブランド。
豊富なラインアップからお選びいただけます。

エッジ AI カメラとは？

AI プロセッサをカメラ内に搭載。カメラ内で映像分析・解析が可能です。

特長

- エッジで処理をするので、通信量が少ない
- AI 解析用サーバーが不要、もしくは、サーバーはメタ情報の集計のみ
- デジタル変換、圧縮前の映像データを使って解析するため、高性能



機能拡張 AI アプリケーション



AI カメラを活用できる多彩な AI アプリをご用意。
1 台のカメラに複数の AI アプリをインストールし、複数の用途に使うことも可能です。

AI アプリの活用例

AI 動体検知／混雑検知アプリによる人数カウント

利用シーンに合わせて、使用するアプリを使い分け

入口を通った人数 をカウントしたい



XAE200、XAE300 のリンククロス機能でカウント

▶▶ 来店者や通行人数を統計化

エリアの利用人数 をカウントしたい



XAE207、XAE300 の混雑情報機能でカウント

▶▶ 時間単位の利用状況を統計化

POINT

設置する位置によって検知エリアが変わる人感センサーと異なり、AI カメラは設置位置に依存せず、正確に人数を把握。設置場所による誤差が生じません。

AI 人物属性識別アプリによる統計情報

検知した人の年齢や性別などの属性を通知



映像に映っている人の属性 を知りたい

XAE205 の人物属性識別アプリを用いて集計

▶▶ 人物属性を集計し、店舗運営に活用

現在の利用人数 男性：3人 女性：2人

〈施策例〉

- ・夕方以降は女性利用が減るから、キャンペーンをしよう
- ・ブースの女性利用率が低いから、レイアウトを変更しよう
- ・利用人数に合わせて従業員のシフトを最適化しよう

通知する情報

- ✓ 人物検知中、1 秒間隔で人物の jpeg と、識別した情報を通知
- ✓ 年齢 / 性別 / 髪型 / 髪色 / ひげ / サングラス / マスク / 上下衣の種類と色の、それぞれの確からしさを通知

その他の運用・提案事例

i-PRO は、安全・防犯だけではなく、安心・快適・サービスを提供します

音でもセキュリティ性を確保

AI カメラ 標準搭載

映像だけでなく音でも異常を検知
悲鳴、ガラス破壊音、クラクションを検知

※周囲音量+6db で検知します

アラーム通知
映像確認

店舗の来店者数を計測

i-PRO mini 標準搭載

エリア毎に人数をカウントし、
例えば、時間ごとに利用人数を把握

- ・人気設備の増設
- ・空き状況予測を表示
- ・店員のシフトへ反映

夜間の防犯監視

AI 動体検知アプリ

スケジュールにより
「夜間のみ」、人の侵入を検知

※20lx 以上の明るさ推奨

アラーム通知
映像確認

状態変化を検知し、即対応

AI 状態変化検知アプリ

AI が状態の変化を検知し、
即座に通知を送ることが可能

- ・迷惑駐車を検知
- ・欠品状態を検知
- ・開閉状態を検知
- ・貴重品の持ち去り検知

AI 技術による監視カメラの進化

これまでの運用

定期的な映像監視が必要

監視が大変・・・

映像監視

店舗オーナー

問題点

- 監視の時間がかかる
- 有事の際のみ再生するため異常を見落とす可能性あり

AI カメラ導入後

「映像を見る」から「映像を活用する」へ

アラーム発生

異常を Push 通知

異常時のみ確認

映像を確認

店舗オーナー

ダッシュボードで統計情報をチェック!

警備運用の変化

- 効率的な警備
- 異常を見落とさない

店舗運用の変化

- 従業員の最適配置
- 対応レベルの向上
- 店舗レイアウトの最適化

外部インターフェースの活用例

解析データを
メタ情報として活用

ダッシュボードへの活用

デジタルサイネージ

機器との連携

